



## 感謝にあふれ心温まる卒業証書授与式でした

3月6日(火)第71回卒業証書授与式を行いました。厳粛な雰囲気の中で証書の授与が行われ、卒業生一人ひとりの大きな返事が際立っていました。在校生の態度もとても立派で、卒業生への感謝をしっかりと伝えようとする気持ちが十分に感じられるものでした。昨年に引き続き、卒業証書の授与の際に、各学級が真剣に取り組んだ合唱コンクール曲をBGMとして流しました。その後に行った卒業式実行委員会主催の第2部では、70周年記念曲『明碧の朝』の合唱曲を全校合唱しました。この歌詞は、式典で歌った歌詞に、生徒が歌詞をつなげたものです。第2部では、代表生徒のことば、全校合唱、いずれも心に響く素晴らしいものでした。親への感謝、仲間への感謝、先生への感謝…。人は、感謝のことばを耳にしたとき、心が温かくなり、とても気持ちよくなります。そして、次への意欲がわいてきます。実行委員の皆さん、卒業生を送る会、そして卒業式第2部の企画、運営ありがとうございました。



### お母さん、ありがとう 糸井川敬(3-5)

お母さん、いよいよ卒業の日を迎えました。今日は、いままでなかなか言えなかった感謝の思いを伝えさせてください。これからゆっくり話します。一度しか言わないから、ちゃんと聞いていてください。

お母さん、僕にサッカーを続けさせてくれてありがとう。遠征が多くて、朝早い日が続いた時も、いつも応援してくれました。高校生になっても、サッカーは続けるつもりです。また同じように、汗臭くて、汚いユニフォームや靴下の洗濯をよろしくお願いします。

お母さん、僕は好き嫌いがあまりないです。これは、お母さんが毎日のご飯を工夫して作ってくれたからだと思います。どれだけ疲れていても、僕のことを考えて作ってくれた毎日のごはん、ただただ、「ありがとう。」という気持ちでいっぱいです。これから僕も高校生になります。また3年間、弁当作りをお願いします。

お母さん、僕は、あなたの優しいところをたくさん知っています。たとえば、僕が行きたいと言った場所に、たいてい連れて行ってくれること。あと、そのたびに、ちょっとだけ、僕の財布

の中にお金を足してくれていること。言葉には出さないけれど、僕が喜ぶだろう、ということをしてくれます。でも、それよりこれからは、お母さんが、自分の欲しいと思うものを、そのお金で買ってください。

思い返せば、僕は、お母さんを傷つけてしまうことが何度もありました。謝ることもできませんでした。次の日の朝、何事もなかったように「おはよう敬。」と言ってくれるお母さんの笑顔が、とても辛くて、なんであんなことを言ってしまったんだと、悔やむばかりです。こんなばかな息子で、ごめんなさい。たくさん苦勞をかけてしまっただごめんなさい。

僕は今日、東中を卒業します。この日を迎えて、お母さんが僕のことを誰よりも大切にかけていると感じることができました。僕はあなたにとって、立派な息子になれているでしょうか。それでも、僕にはひとつだけ自信を持って言えることがあります。僕にとってあなたは、自慢の母親です。東中学校を旅立つ今まで、支えてきてくれて、ありがとう。

## 信頼される人になりたい 杉浦千帆(3-3)

「信頼される人でありたい」と考えることができるようになったのは、部活動のおかげです。

私はソフトボール部でした。やったことのないそのスポーツで、私は初めてから1年で、部長をすることになりました。部長に指名された時、うれしさと同時に不安も感じたのを覚えています。

それからずっと、どうしたらもっと上手くなれるのかな、どうしたら部長らしくなれるのかな、と考えていました。お世辞にも私は、周りの部員に比べて上手なわけではなく、ノックではエラーばかりで、いつも練習で最後まで残っていました。部長は誰よりも声を出して、誰よりも上手じゃなきゃいけないのに…。私は自分が部長であることがいけないことなんじゃないかと感じてしまいました。

最後の夏が終わったとき、実際には達成感というより、心残りの方が大きかったです。よ

く、部活動が楽しかった、と周りで話しているのを聞いていると、「私にとって、部活動は苦しい時間だったよ」という気持ちになります。

でも、引退してしばらく経ったとき、「千帆が部長で良かったよ」と仲間に使われたことが自分の救いになりました。どれだけ苦しくても、仲間の顔を見て自分なりに声をかけたこと、試合中、みんなの気持ちが高まるように雰囲気をよくしようと努力したことも全部、仲間の言葉のおかげで報われた気がしました。

このとき、信頼されることが、人をこれだけ温かい気持ちにさせてくれると分かりました。この思いは、私がずっとずっと大切にしていきたいものです。

ソフト部のみんな、部長として頼りなかった私を、認めてくれて、嬉しかったよ。それぞれの道で、これまでと同じように、頑張っていこうね。みんな、ありがとう。ずっと、忘れないよ。

## 校長のサプライズ卒業式 ～190人目の卒業生～

3月2日(金) 今年退職する校長(私)のサプライズ卒業式を卒業生が企画し行いました。卒業生189名に加え、190人目の卒業生として手製の卒業証書をいただきました。私が理科の教員であったことから、たくさんの卒業生のメッセージの入った白衣をいただきました。生徒から感謝の言葉もあり、思わず涙腺が緩む心温まる式でした。ありがとうございました。



## 感謝のことば 石川 遥(3-1)

校長先生、これまで大変お世話になりました。校長先生には、どの部活もたくさんの応援をしていただきました。吹奏楽部は特に応援をしてもらっていたように思います。お忙しいはずなのに、ほとんどの大会に足を運んでいただき、いつも温かいまなざしで、私たちの演奏に耳を傾けてくださいました。昨年の福島県で行われた全国大会も、わざわざ一緒にバスに乗り、ついてきてくださいました。コンクールの結果発表の後、校長先生が私達のところに笑顔でトコトコと走ってきて、私たちよりはしゃいでいるんじゃないかと思うくらい大興奮して、大喜びしてくださいました。その姿に私たちの喜びも倍増しました。そして、いつもカメ

ラでたくさんの写真を撮ってくれました。

校長先生に喜んでほしい、校長先生の喜ぶ顔が見たいと思い、練習をがんばることができました。部活動が縮小化してきている今、こうして自分たちの選んだ部活をのびのびとやらせていただき、私たちはとても幸せな中学校生活を送ることができました。いつも優しい笑顔と温かい言葉をありがとうございました。私たち東中生はみんな、こんなにも生徒に寄り添ってくれる校長先生が、大好きです。東中で校長先生と出会えて本当に良かったです。ありがとうございました。ずっとお元気でいてください。